

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院消化器外科に入院され、結腸手術施行歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

消化器外科周術期患者における術後運動機能と術前栄養状態の関係

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 理学療法士 村川 佳太

3. 研究の目的

腹部外科手術による侵襲が身体機能に与える影響は大きく、特に排痰機能をはじめとする呼吸機能の低下は明らかであり、それらは同時に周術期リハビリテーションの主目的となる。そして、その介入効果は、肺容量の増加や無気肺等の肺合併症併発の予防、廃用症候群の予防などが期待できる。一方、手術後には疼痛やドレーン管理といった様々な理由で、手術後の安静や身体活動量の低下が余儀なくされる。活動量低下や術前の低栄養、術後の炎症期の存在は術後の身体機能面低下をさせるリスクであるとも考えられ、術前からの介入や栄養状態による術後介入方法の検討は必要であるとする。しかし、術後運動機能と術前の低栄養に関する報告はあまりない。そこで、本研究では術後の筋力・運動耐容能低下が術前の栄養状態にどのような影響を受けているのかを検討していく。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

結腸（盲腸・上行結腸・横行結腸・下行結腸・S状結腸）の悪性腫瘍の患者さんで、平成28年4月1日から平成32年3月31日の期間中に、結腸（盲腸・上行結腸・横行結腸・下行結腸・S状結腸）の手術を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、基本情報に加えて、血液データ、術前術後の身体機能評価、手術情報などの既存データとなっています。

(3) 方法

術後身体機能の低下があった方の入院時の栄養状態や手術様式などの各項目について比較検討を行います。

## 5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

## 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

## 7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 担当者 村川 佳太

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-mail : [murakawa.keita@aijinkai-group.com](mailto:murakawa.keita@aijinkai-group.com)